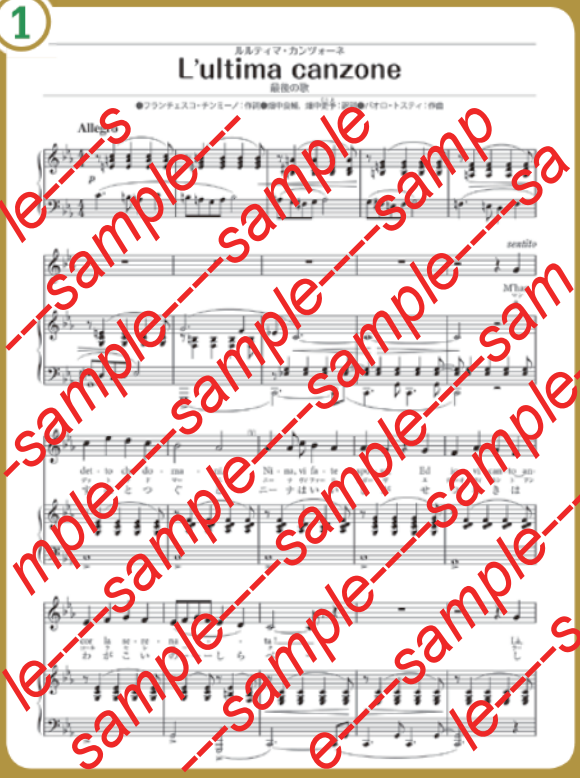
改訂版
高校生の音楽３

「魅力的なメロディーの秘密」で新しい音楽を創造する

① 

L'ultima canzone（p.24）

②

魅力的なメロディーの秘密（p.82）

生徒：先生，こんなメロディーを作ってみました。

先生：お，いいね。♪～（弾いてみる）きれいなメロディーだね。もっと良くするために，まずは動きをシンプルにしてみようか。例えば，24ページの**「L'ultima canzone」**①を開いてごらん。最初のメロディーの頭の音を拾っていくとどうなる？

生徒：音が徐々に下がっていってるね。

生徒：なんだか音階っぽい。

先生：そう。ここに和音の動きも入れると…

生徒：音の動きはシンプルなのに，とてもきれい。

先生：印象的なメロディーって，実は単純な作りをしていることが多いんだ。そこで，さっきのメロディーにも当てはめてみよう。

生徒：音の動きが少しデコボコしてるから，均して…すごい，流れるようになった！

先生：もちろん，わざとぎこちなくしているメロディーもあるよ。どういうイメージの音楽にしたいか，ってことがすごく大事なんだ。82ページの**「魅力的なメロディーの秘密」**②を見てみて。どういう特徴が加わるかで，音楽の性格は変わるんだ。

生徒：作曲家っていろんな工夫をしてるんですね。

先生：そこを見つけることで演奏にも生かせる。音楽も，新しい表現の可能性っていうのはまだまだいっぱいあるんだよ。よし，これを踏まえて，もう一度作ってみよう。

“新しい音楽の可能性を思うままに探求できる”